

③

二〇二六年度

一般選抜試験問題

国語

注意事項

監督者の許可があるまでは、この冊子の中を見てはいけない。

- 一 解答はすべて別紙解答用紙の指定箇所に入入すること。
- 二 問題は四ページから一六ページまで印刷されている。もし印刷不鮮明の箇所などがあれば申し出ること。
- 三 解答用紙は二枚ある。すべての解答用紙に氏名および受験番号を必ず記入すること。
- 四 解答用紙の解答欄には解答に関する以外は記入しないこと。また、採点欄には何も記入しないこと。
- 五 解答用紙への記入には必ず黒鉛筆（HB以上の濃さ、シャープペンシルを含む）を使用すること。
- 六 この問題冊子は持ち帰ること。

I

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

私は講義を受け持つ学生たちにレポート課題を出す際、「生成AIを使ってもいい」と伝えています。すると「ラクができるのでラッキー!」と喜ぶ学生も一部いますが、その様子を見るたび、「^(a)生成AIを使うことの難しさ
を理解していないのかな」と感じてしまいます。恐ろしい課題を課されているかを見抜けないのでしょうか。

生成AIをレポートに使ってよい。これが意味するのは、「生成AIを使いこなせないと評価が著しく下がる」ということ。

まず、周囲の学生が生成AIを使って質の高い文章を提出するなか、生成AIを使わずに自力でレポートを書いた場合。低品質な文章で提出することになり、評価が下がります。

かといって、生成AIを使って作成した文章をそのままコピー・ペーストする程度では、やはり評価は低くなります。誰もがそのレベルのレポートを提出できるからです。生成AIを用いることで以前よりも確実に文章はうまくなっているはずですが、他の学生も同様に生成AIを活用しているため、そこに独自性や工夫が加味されなければ差が生まれません。自分はどう考えるのか、将来をどう予見するか。自分なりの意見やアイデアをちりばめなければ、優れたレポートにはなりません。

ここで明らかになるのは、やはり^(b)「生成AIが登場したからといって人間がラクになるわけではない」という否応のない事実です。生成AIを使いこなすには、それに見合った学力や努力が必要です。かつては感想文程度のレベルで評価されていたレポートですが、要求されるレベルは以前よりも⁽¹⁾かくだんに上がっていると言えます。「生成AIを使ってレポートを書いていい」と言われて喜ぶのではなく、「これは大変だ、もっと勉強しなければな

らない」と感じなければなりません。なぜなら、「生成AIを使ったら何を書けるか」は、私のレポート課題の単なる出発点ではないからです。AIが生成した内容の正確性を確認し、自分の意見やアイデアを盛り込んで独自性を出す必要があります。

ある日、学生が漏らしていました。「レポートに費やす時間が以前よりも増えた」と。それは当然のことでしょう。「生成AIを人間社会に迎え入れることの本当の意味に気づいた君は立派だ」。私はそう返しました。

新しいテクノロジーが登場すると、人間の仕事がラクになると期待されがちです。しかし、実際には仕事が減らず、増えていくほうが多いのです。

例えばEメールが発明され、今では手紙を書く必要がなくなりましたが、仕事はむしろ増えたと感じる人が多いはずです。

私のような科学者も、かつては論文を科学雑誌に^②投稿する際には、航空郵便を使用していました。論文を印刷し、封筒に入れ、切手を貼^はって郵便局に持って行き、飛行機で何日もかけて海外へと送る。その後、長い査読期間を経て、^③しんさの結果を知らせる手紙が届くまで待つというプロセスがありました。1つの論文を^②投稿するまでには、とにかく長い待ち時間があつたのです。

しかし、現在ではインターネットを使えば、論文は瞬時に送信できます。スパンが短くなった分、研究者は待ち時間を失い、結果としては日々が忙しくなりました。「人間がラクをしたい」という目的で作られた技術が、逆に人間を忙しくさせているのです。

インターネットの出現により、情報の巡りが速くなり、状況は目まぐるしく変わります。だからこそ日々の研鑽^{けんさん}と情報収集にさらなる時間が取られるようになりました。

これと同様に、生成AIの利用が当たり前になれば、あらゆる仕事で要求されるレベルはさらに高まっていくでしょう。

映画などが良い例ですが、昔はハリボテの怪獣や花火のような爆発でも許されていましたが、CGが出るようになってから観客は当たり前のようにリアルなモンスターや^④ごうかいなアクションシーンといった現実では考えられない映像を要求するようになりました。さらに、CGの美しさや派手さを兼ね備えた映像は「当たり前」。それに加えて、どうやってストーリーや演出にオリジナリティを交えていくかが勝負になっています。

もう一つ、^(c)多くの方が抱く「生成AIに仕事を奪われるのではないか」という懸念について触れておきましょう。

みなさんは、2013年に発表されたオックスフォード大学のマイケル・A・オズボーン博士の「雇用の未来(FUTURE OF EMPLOYMENT)」という論文をご存じでしょうか。この論文では、702種類の仕事を調査し、今後10～20年間でAIなどによる自動化が進み、アメリカにおける雇用の47%が仕事を失う可能性が高い、と結論づけられました。教授という職業も絶滅リスクが高いものとしてランク付けされています。

当時、この論文は「私たちの仕事がなくなってしまうのではないか」と多くの人に^⑤しやうげきを与えましたが、批判も多くありました。たとえば、論文では「カウンセラーは^⑥代替されづらい仕事」と指摘されましたが、カウンセリングAIもすでに登場していることは述べた通りです。

私は、論文内で指摘された仕事の多くは、今後もなくならないと考えています。ただ、仕事自体はなくならない代わりに、タスクや内容については、^⑦既存のものとは大きく変わっていくでしょう。

私は大学で薬理学を教えています。授業前に、ときどきYouTubeなどで自分よりも上手に薬理学を教え

ている他の先生たちの授業動画を見ることがあります。上手な先生の教え方を見ると「こうやって教えたらいいのか」と参考になりますし、ときにはそのテクニックを自分の授業に取り入れることもあります。

でも、少し考えてみると、「あれ、動画があるのなら、授業の代わりにこの動画を流して、学生に見せればよいのでは」も思っています。

今後、AIが進化すれば、教えることも得意になり、人間のY o u T u b e rの授業すら必要なくなるかもしれません。となれば、もう教授は要らないのでしょうか。

それはないと思うのです。^⑧ きゅうきよく的には、やはり教授が学生のサポートをしなくてはなりません。そして学生の学力向上や成果物に対して責任をとる、この仕事を担えるのは、生身の人間でしかないはずです。AIによって教授の業務内容は大きく変わるかもしれませんが、やはり教授という職種は残り続けるのではないでしようか。

同じ様に、将来、AI教師が普及したとして、小学校の教師の仕事がなくなってしまうのかといえば、決してそうではありません。ただ「教える」ことがメインだった仕事は、変化することは間違いありません。AIの指導についていけなかった生徒をフォローしたり、AIが教えた内容を補足したりする仕事へと変わっていくでしょう。それはAIの尻拭いしりぬぐのように感じるかもしれませんが、私はこれこそが人のやるべき重要な仕事だと思います。心と心を通わせたコミュニケーションについては、AIではなく人間が担当すべきです。生徒に対するケアや保護者へのケアなども、今後は教師が果たすべき大切な役割になるはずです。こうした変化は、「教えることが苦手だから教師にはなれない」と思っていた人のほうが、実は教師に向いているという新たな可能性を生みます。

同時に、今後の職業選択は、今まで以上に、より^⑨ しんちょうに行う必要が出てくるでしょう。たとえば、「私は

数学が好きだから税理士になりたい」「お金の計算が好きだから公認会計士になりたい」と考えても、将来的には数字や法律を扱う業務がAIに^⑥代替される可能性があります。その場合、現在行われているような税理士の仕事はなくなるかもしれません。代わりに税理士が担うのは、企業のコンサルタントや税務署対応など、人間同士のコミュニケーションが必要な仕事になるでしょう。

同様に、「オペをするのが好きだから」という理由で外科医を目指したとしても、将来的にはAIが人間よりミスが少なく、成功率の高いオペを行うようになるかもしれません。現在でも「ダ・ヴィンチ」という手術支援ロボットがありますが、将来的にはこのロボットをAIが操作するようになり、人間がオペを行わなくなる可能性もあります。

では、新たな医師の資質とは何か。教師が生徒にとって質問しやすい存在であるべきであるのと同様に、医師も患者が気軽に相談できる存在であることが重要な資質となるでしょう。そして、病床で苦しむ患者の背中を、体温のこもった温かい手でさすってやるのも、医師をはじめとする医療^⑩じゅうじしやにしかできないことです。多くの職業は今後ともなくならないでしょうが、その仕事の内容がどう変わっていくかを、よく考えておく必要があります。

（池谷裕二『生成AIと脳——この二つのコラボで人生が変わる』による。一部改変）

問一 傍線部の①～⑩について、ひらがなを漢字に、漢字をひらがなに直せ。

問二 筆者は学生のレポート課題を例に、傍線部（a）に「生成AIを使うことの難しさ」と述べている。その「難しさ」について、文中より考察し五十字以内で記せ。

問三 傍線部（b）に、「生成AIが登場したからといって人間がラクになるわけではない」という否応のない事実とある。それはどうしてか、三十字以内で記せ。

問四 傍線部（c）に、「多くの方が抱く「生成AIに仕事を奪われるのではないか」という懸念について」とある。この「懸念」について筆者の考えを百字以内でまとめよ。

II

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

マルハラという言葉が、2024年の春、新聞やテレビ、ネットを賑^{にぎ}わせた。マルとは句点のことで、マルハラ
スメントを略してマルハラ。中高年がLINEなどのSNSで送信する際、文末に句点を付けることが、^①いあつ
てき^①に取られるという話だ。「連絡ください」「わかりました。」等の句点が、若者には怒っているように感じられる
らしい。

いやはや、^(a)なんでもハラスメントになる時代だと驚く。と同時に、世代間でのギャップがコミュニケーション
の妨げになるのだとしたら、お互いの感覚を理解して、円満にやり取りしたいものだと思う。これはハラスメン
トというよりは、わりとシンプルな誤解ではないだろうか。

若者が、LINEでの会話に句点があることに、^②いわかんを抱くのは、それが限りなく話し言葉に近いと思っ
ているからだろう。だから「マル」がついていると、あえて付けたように感じてしまう。たとえば日常会話で「わかっ
た」ではなく「わかった、以上!」と言われたような感じではないだろうか。後者には「もうわかったから、このこ
とにいつまでも拘泥^{こうでい}するな」的なニュアンスが漂う。

いっぽうで中高年世代にとっては、LINEといえども画面に文字が出る以上、あくまでそれは書き言葉なのだ。
書き言葉であるなら、文末には句点を打つのが当然であると思ってしまう。

もちろん若者たちも、いっさい句点を使わないわけではなく、学校のレポートや会社内でのメールなどでは、文
末にマルを入れているはずだ。つまり、そこがどうい^③う場なのかの認識のちがいである。普段着であいさつしに来
たつもりが、年上の人^③がスーッ姿で現れたら、い^③い^③こ^③ち^③が悪いし、なんだか自分の服装をとがめられたような気

持ちになる。無言の圧力：それがハラスメントと感じられるのではないのだろうか。

私は、若い世代とのやり取りでは、一文やひと言で済むときには句点は省略し、長めの文章になる時は付けている。日常的にやり取りしていれば、この人はこういうルールなんだと伝わるので、さほど神経質にならなくてもいい。お互いのルールや感覚を探りあっているときには、年代の違いを考慮するのは有効だと思う。

また、マルハラの少し前に「おばさん構文」というのも話題になった。長文で、やたら絵文字や句読点が多いというものだ。ここでも句点が、マイナスのイメージで捉えられている。

そこでふと、自分の短歌を思い出した。日本語って、○で終わるんだな、それってなんだか ^④すてきなことだな
と思い、詠んだ一首だ。世の中的には分の悪い句点だが、こういう見方もできるのでは？^④と思い、Xに投稿した。

句点を打つのも、おばさん構文と聞いて……この一首をそつと置いておきますねー

優しさにひとつ気がつく ×でなく○で必ず終わる日本語

ちょうどマルハラ的话题と重なり、またたくまに10万を超える「いいね」がついた。朝日新聞や毎日新聞、読売新聞のコラムでも、マルハラ的话题にからめて取り上げられ、反響の大きさに自分でもびっくりした。みなさん若者に気をつかいながらも、どこかで「マルをつけない」「句点があるほうが落ち着く」「そんなつもりのマルじゃない」と感じる人が多かったのかもしれない。モヤモヤを抱えていたところに「マルで終わるって日本語の優しさでは？」という一首のメッセージが、ダイレクトに届いたようである。

リプライや引用リツイートには「私の文章も、こういう気持ちで見てほしい」「○は怖くない。実は優しい！」「お

じさんも助けてくれて、ありがとう」等々、中高年からの喜び(?)の声があふれていた。一首の短歌が、どんなふうに人々に手渡されていくか、^⑤可視化されるのがXの醍醐味^{だいごみ}の一つだ。

ちなみに、ここまで^⑥かくさんされると、もちろん思いがけないリプライも付く。多かったのは「×で終わる言語があるんですかね」というもの。いちおう反論というか補足をしておくと、「×でなく」とは、「今から句点の○を○×の○と見立てますよ」という伏線としての表現である。

マルハラ問題に、もうひとつ日本語らしい観点があるとすると、「曖昧^{あいまい}表現が好き」というのが考えられる。若い人が「句点で言い切られるのが怖い」というのは、裏返せば「言い切らないで柔らかに終わったほうが優しい」という感覚だ。

三十年ほど前になるが、若者の「とか弁」というのが話題になった。「映画とか見て」「アイスとか食べて」といった言い回しだ。映画以外は見てなくて、アイス以外は食べていなくも、こういう表現をする。それまでは「とか」と言えば、並列や列挙に用いるものだった。「トマトとかピーマンとかを育てています」といった具合に。今では大辞泉にも、二番目の用法として「断定を避け、あいまいにするために語の後に付ける。『学校とかから帰る』『補説』1990年代前半から若者の間で使われ、すぐに大人にも広まった。多用する話し方を『とか弁』ともいう。」と記されている。

あつという間に定着した背景には、^(b)^{あいまい}日本人の曖昧好みがあるだろう。当時、とか弁に対して渋い顔をしていた大人たちだって、「今度の日曜あたり、ゴルフでもしませんか」というような言い方を好んでしていた。月曜にテニスをすることは、ありえないのだが「今度の日曜に、ゴルフをしませんか」と言うと、ソフトさに欠ける。それと同じ理由で、よりふんわりした表現として「とか弁」は愛され広まった。

似たような例は他にもあって「こちら、ピザトーストになります」の「なります」や、「メニューのほう、おさげします」の「ほう」などなど。「ピザトーストです」「メニューを」とはつきり言わないほうが、まどろっこしいが丁寧な印象になる。

文末の断定ということで言うと「会議を始めます」「会議を始めさせていただきます」「会議を始めさせていただきます」と思います」の順に、だんだん婉曲えんきよくさが増していく。始めることに変わりはないのだが、これがLINE等の文面で「会議を始めます。」となると、もしかしたら若い人には「会議を始めます。(キッパリ！文句あつか?)」というニュアンスに見えるのかもしれない。

だいたい新しい言い回しというのは若い人から生まれて、大人が渋い顔をするというのが定番だ。その若い人から生まれるのが「とか弁」をはじめ、句点ナシなどの新しい曖昧表現あいまいというところが面白い。本質は上の年代と変わっていないとも言える。

もちろん曖昧あいまいというのは、決して悪いことではなく、日本語のコミュニケーションにおいては丁寧な印象を与えるしてくれる。言葉をむき出しではなく、何かにくるんだり、クッションをはさんだりして渡すほうがよしという文化である。ただ、あまりに⑦かじようだと、なんとか責任逃れのムードが漂って、よろしくないし、誤解を招くことにもなる。「前向きに検討させていただきます」は、ほほやらないという意味合いだが、外国の人には通じにくい。時にはきっぱりと「無理です」と言ったほうがいい場面もあるだろう。就活用語「お祈りメール」(不採用通知の婉曲表現えんきよく。文末に○○様のこれからのご活躍を心からお祈り申し上げます等と書く)というのがあるが、あれも心にもないことを形式的に言い過ぎると、かえって空々しい。

⑧じゅんかつゆとしての曖昧表現あいまいだが、使いすぎるとすべるといことを心しておきたい。

また、すでに定着した感のある「界限^{かいわい}」という言い方も、一種の曖昧^{あいまい}表現ではないだろうか。もともとは、特定の地域や場所一帯を表す語だったのが、あるジャンルや趣味に関心を持つ人々、さらにそのコミュニティを指すようになった。「アニメ界限^{かいわい}」「自然界限^{かいわい}」というように。界限^{かいわい}という語が本来持つ「そのへん」という^⑨輪郭^{りんかく}の曖昧^{あいまい}さが、きつちりした「所属」よりも気楽で心地よい。中心にいても（めっちゃ熱心）、境界にいても（まだ初心者）と^①りあえず「界限^{かいわい}」と言えるようなフワツとした感じが、多くの人の心を掴^{つか}んだのではないかと思う。

（c）「風呂キャンセル界限^{かいわい}」というのは、要するに風呂が面倒でやめる人々を指すが、まずそういう界限^{かいわい}があるよということを、この言葉は言ってくれているわけで、ちょっとホッとさせられる優しさがある。「面倒なので風呂に入りません」とストレートに言くと、なんだかズボラな感じがして後ろめたい。でも「疲れたから、今日は風呂キャンで」なら、とても言いやすい。

そもそもキャンセルというのは、一度は約束したものを取りやめるということなので、気持ちはあるのだけれど、なんらかの理由によってやめるんですよというニュアンスが漂う。それが程よいエクスキューズになってくれているのが^⑩みりよくだ。界限^{かいわい}という言葉によって、少数派ではないというイメージも生まれる。

「風呂キャンセル界限^{かいわい}」は、世の中で話題になっていくなかで、精神的な辛さを抱えるがゆえに入れない人への配慮という視点も加わった。この言葉の持つ、「一般的にはマイナス認定されていることを、現にあるものとして肯定する」という優しさが、生んだことではないかと感じる。

（俵万智『生きる言葉』による。一部改変）

問一 傍線部の①～⑩について、漢字はひらがなに、ひらがなは漢字に直せ。

問二 傍線部(a)に、「なんでもハラスメントになる時代だと驚く」とある。「ハラスメント」の意識や範囲の拡大は、現代社会の特徴と言われるが、「マルハラ」が生じた背景あるいは要因の一つを、問題文を参考に十五字以内で記せ。

問三 問題文の筆者は歌人として著名な人物である。「短歌」について述べたア～オの文章のうち、誤っているものを一つ選び記号で答えよ。

ア 「短歌」は基本的には、五七五七七の三十一文字から構成される。そのため「みそひともじ」の別称もある。

イ 「短歌」は「和歌」の一形式であるが、明治以降（近代・現代）は現代文学のジャンルとして発展した。

ウ 「短歌」は「俳句」と同様に、原則として季語が必要とされ、定型を重んじる傾向が強い。

エ 「短歌」は文体等の制約が少ないため、読む人が素直に共感することができると近年魅力を感じずる人も多い。

オ 「短歌」は一首、二首、三首と数え、俳句は一句、二句、三句と数える。

問四 傍線部(b)に、「日本人の曖昧^{あいまい}好み」とある。また「曖昧表現が好き」とも述べている。筆者は日本語の「曖

昧」についてどのように考えているか。問題文中の言葉を使って百十字以内で述べよ。

問五 傍線部(c)の「風呂キャンセル界限^{かいわい}」について、この言葉から感じられる気持ちを筆者はどのように表現

しているか。四十字以内で述べよ。